

2026年度病院勤務医の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画（2025年度の実施状況と評価を含む）

項目	2025年度の実施計画	2025年度の実施状況及び評価	2026年度の実施計画
医師と看護師等との業務負担	<ul style="list-style-type: none"> ① オーダリングシステムによる事前指示（予定入院者、外来患者の次回来院時の支持等）の代行入力 ② 静脈注射、ルート確保等医師の指示による看護職員の実施 ③ 採血については医師の指示の下に看護職員、臨床検査技師の実施 ④ 薬剤師による服薬指導の実施 ⑤ 医療機器の管理等は、臨床工学技師でメンテナンス等の管理を実施 ⑥ 地域連携室による他の医療機関、施設等の紹介・逆紹介の円滑な運営 地域連携室の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 看護師・医師事務作業補助者による代行入力を継続して実施 ・ 看護師・臨床検査技師による実施を継続 ・ 継続して適切に実施 ・ 継続して適切に実施 ・ 継続して適切に実施 ・ 地域連携室の強化により、紹介・逆紹介件数が増加し、病診連携を円滑に実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ①から⑥については継続 ・ 連携先医療機関・施設の更なる拡大、逆紹介件数の増加を目指す
医師の勤務時間の把握と適正な勤務時間、業務内容の検討 予定手術前日の当直や夜勤に対する配慮 勤務計画上連続当直を行わない勤務体制の実施 当直翌日の業務内容に対する配慮	<ul style="list-style-type: none"> ① 当直は月4回とし、希望日の配慮、翌日の勤務時間、業務内容の配慮を行う ② 予定手術前日の当直、待機には術者、第一助手には配慮する ③ 連続当直は行わない 	各科における当直回数・翌日配慮をほぼ計画どおり実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き月4回を上限とし、希望日・翌日業務内容に配慮した当直体制を維持する ・ 引き続き常勤医の確保 ・ ①から③の継続
短時間正規雇用医師の活用	<ul style="list-style-type: none"> ① 常勤女性医師の子育て支援として、院内保育所の利用、小学校低学年までの医師勤務時間の配慮 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用医師はなし 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続する
医師事務作業補助者の配置	<ul style="list-style-type: none"> ① 医師事務作業補助者の配置による代行入力、診断書等の書類作成。症状詳記、代行可能な医師業務等を積極的に行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 診断書等の作成時間が短縮 ・ 増員により配置基準の引き上げを実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 適切に配置し医師の負担軽減を図るため引き続き増員を計画 ・ 医師事務作業補助体制の業務拡大検討 ・ 現在の業務は継続